

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1		活動内容により、公共の体育館や屋外を使用している。 また屋内施設を使うときは、グループを分けて行うなど工夫をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	2		トイレ等で女性職員を必要とする機会がある。 今後はアルバイトの方も含めて対応できるようにしていき必要性を感じる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2		バリアフリースイッチを設置している。 車椅子ユーザーの利用者の乗り降り場所を賃貸主と話し、確保した。 また、入口に簡易スロープも導入した。(必要時設置)
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			事前に全員で長期計画や、振り返り等のミーティングをしている。 その都度、内容改善に努めるようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			活動開始前に必ずミーティングを行っている。 また毎週火曜日に、全員参加での全体の振り返りの機会を設けている。 保護者の方のご意見も、日々の活動に取り入れるようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5		第三者による評価は、他事業所との交流が少ないため多くはできていない。 障害者スポーツセンター等の外部施設と共同イベントを行った際は、振り返りを行い次回につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			各研修（オンラインも含める）に参加している。 デイ活動と重なり、研修に参加できない職員には、その都度内容を共有している。
適切 な 支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			職員同士で個々の課題や情報を共有のうえ、計画につなげている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			季節の催しや運動プログラムを、職員配置等を考慮しながら、チームミーティングで決めている。 イベントや活動内容はスタッフ全員で話し合い、計画している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			同じ活動を継続して行うことで、出来るが増えていく場合は続けています。 また季節性のプログラムを取り入れるなどの工夫を行っています。 子どもたちや保護者からのニーズを取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			買い物体験やお仕事体験など、状況・要望を考慮しながら行っている。

へ 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			個々の活動や能力に応じて計画をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			活動内容、人員配置、役割分担や支援内容の確認など、事前打合せは必ず行っている。 合わせて前回の様子も共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			子どもの変化や気づいたことはその都度共有している。 その日良かった点や改善点をチーム内で話している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			記録し、次の活動に繋げている。 内容を絞ってより書きやすい様式に改善している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			定期的に状況を聞くようにしていることに加え、必要なタイミングでモニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	2		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			今後は、一定の職員だけでなく、その職員と一緒に他の職員も帯同するなど、対応職員を増やしていくことも大切と感じている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			下校時間や行事予定は、基本的には保護者からいただいている。 送迎時には学校での様子など、確認するようにしている。 当日の急な変更や様子の確認など、直接学校に問い合わせる場合もある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5		医療サービスを提供できる体制が整っていないため、医療的ケアが必要な子どもの受け入れはしていないが、今後そういった体制を整えば、対応していきたいと考えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3		担当者会などを通じて情報提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5			イベント等では健常児も交えて参加してもらうようにしており、一緒に活動できる機会を設けている。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		5		現在は参加できていないが、今後積極的な参加を検討している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎時にお伝え出来ないことは、送迎後等に電話やメッセージでお伝えするなど、丁寧な対応を心がけている。 デイだけでなく、学校で聞いたこと等も報告している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		5		現在は、機会を設けることができていないため、今後必要に応じて実施していく予定。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時、モニタリング時・送迎時など、お話をさせていただいている。支援内容は、それぞれの場面で定期的に伝えるようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			相談時に適切に支援ができるように努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5			パパプロ・ママプロ（保護者交流イベント）を開催している。参加できていない保護者にも、繋がりがもてる機会を増やせるよう企画していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			職員間で共有し、子ども、保護者に対して誠意をもって対応できるように努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			月1回の行事予定、不定期に「なないろ」（広報誌）の発行。ホームページでブログの発信をしている。必要に応じて活動内容をチラシ等でご案内している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			写真や動画撮影など、契約時やイベントごとに確認し、取り扱いには十分注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			障害特性に応じて、個別に話したり、人のいない場所で話をする等の配慮を行っている。子どもに応じて視覚支援やわかりやすい言葉で対応している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5			地域の施設をお借りしており、事業者の方を招待したデイを行い、その後仕事見学体験もさせていただくなど、良い繋がりを持つことができている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3		職員間での共有はしているが、今後保護者にお知らせするよう準備中。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			年3回の避難訓練を実施。それぞれの曜日で避難場所までの行動確認をしているが、実施曜日に偏りがあるため、満遍なく実施していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		5		現在具体的拘束を行う必要のある子どもの受け入れがないため、記載していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			食物アレルギーの子ども在籍しているが、現在は食事提供を行っていない。必要の場合は指示書をいただき、提供後は写真を撮影して連絡する体制を整えている。エビベン研修を受講するなど、医療機関と連携している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			事業所内および法人全体で共有している。	